



2018年
3月8日
No.A17-11

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

【会員限定】

中東調査会月刊活動誌 (2018年2月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップミーティング

・2月7日(水)、河野 克俊(防衛省統合幕僚長)「我が国の防衛力の現状」(於: ホテルオークラ)



<要旨>

日本が直面する防衛の諸課題、時に北朝鮮、中国の動向や両国に対する米国と日本の対応について、日本の防衛政策などに触れながら説明された。

(2) 講演会

2月14日(水)、20日(火)、27日(火)の3日間、「ペルシア湾岸地域を取り巻く国際情勢と海洋の安全保障」のテーマで連続講演会を実施した。各講師の講演内容は、中東調査会の機関紙『中東研究』第531号に寄稿されている。(於: フォーリンプレスセンター)

i) 第1回の講師と演題

- ・溝渕正季(名古屋商科大学准教授)「揺れる米国の対中東政策と胎動する『ポスト米国』の中東地域秩序: 湾岸と海洋の安全保障を中心に」
- ・小泉悠(未来工学研究所特別研究員)「中東に対するロシアの軍事的関与: その現状と今後」
- ・村野将(岡崎研究所研究員)「中東におけるミサイル防衛の発展と米国の取り組み」



ii) 第2回の講師と演題

- ・八塚正晃(防衛研究所研究員)「中国の中東政策: 『一带一路』構想における関与の形態」
- ・栗田真広(防衛研究所研究員)「中国海軍のインド洋進出とグワダル港: 『基地化』の虚実」
- ・村上拓哉(中東調査会研究員)「サウジアラビアの海軍増強計画: イランの脅威への対処」

と紛争の管理を巡る問題」



iii) 第3回の講師と演題

- ・今井宏平 (アジア経済研究所研究員) 「なぜトルコはカタールを重視するのか」
- ・金谷美紗 (中東調査会研究員) 「最近のエジプト外交における湾岸地域情勢の位置づけ：イエメン紛争とカタール断交問題の比較」



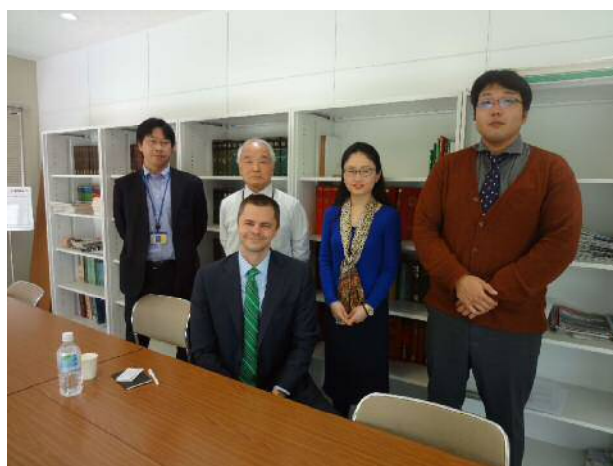
- ・講演会の要旨は、ホームページをご参照ください。

(3) その他の活動

i) 2月6日、横浜市立大学の「海外調査実習」授業の一環として、同大学の学生16名が中東調査会を訪問し、中島主席研究員、高岡上席研究員、金子研究員、村上研究員、金谷研究員から担当地域の情勢について説明を受けた。山崎和美・横浜市立大学 学術員 国際総合科学群 人文社会科学系列 准教授(中東調査課客員研究員)が生徒を引率した。



ii) 2月28日、中東調査会にてジョシュア・メザービー・ヘリテージ財団上級政策分析官との意見交換を行った。外務省の内外発信のための多層的ネットワーク構築の一環。調査会側から中島主席研究員、高岡上席研究員、金谷研究員、西舘研究員が参加した。



2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行 (会員限定)

- ・2018年2号 (2018年3月1日)
- 1. シリア：安保理決議2401号の採択と各地の戦闘
- 2. イスラエル：加速する西岸へのイスラエル国内法適用の動き
- 3. サウジアラビア：軍改革の推進
- 4. エジプト：大統領選挙に向けた激しい反対派

弾圧

※内容はホームページをご参照ください。

(3) 中東かわら版の発行

- ・No.163「エジプト：大統領選挙にシーシー大統領とガッド党党首が立候補」(金谷研究員、2月1日)
- ・No.164「イエメン：紛争をめぐる報道・言論の混乱」(高岡上席研究員、2月6日)
- ・No.165「エジプト：スーダン、エチオピアとの首脳会談」(西舘研究員、2月6日)
- ・No.166「イスラエル：シリア軍がイスラエル軍機を撃墜」(中島主席研究員、2月13日)
- ・No.167「イスラエル・レバノン：レバノン沖の天然ガス開発をめぐる対立」(中島主席研究員、2月16日)
- ・No.168「トルコ：キプロスの天然ガス開発を妨害」(中島主席研究員、2月16日)
- ・No.169「イラン：インドがチャーバハール港の暫定的な管理権を持つことで合意」(村上研究員、2月19日)
- ・No.170「イスラエル・パレスチナ：ガザでの戦闘が激化」(中島主席研究員、2月21日)
- ・No.171「パレスチナ：アッバース大統領の安全保障理事会での演説」(中島主席研究員、2月21日)
- ・No.172「イスラエル：米国大使館のエルサレム移転(5月)」(中島主席研究員、2月28日)

3. その他

(1) 要人往来

・2月1日、スルターン・アル・ジャーベル・アラブ首長国連邦(UAE) 国務大臣が、安倍首相及び河野外務大臣を表敬した。